



最新設備を駆使した 難度の高い線細工加工

栄光スプリング株式会社

大阪
21

ISO 9001

<http://www.eiko-sp.co.jp/>

Company Profile

栄光スプリング株式会社

住所 / 〒571-0015
門真市大字三ツ島188-8

創業 / 昭和51年3月

設立 / 昭和52年7月

資本金 / 1,800万円

従業員 / 9名

TEL / 072-881-3556

FAX / 072-881-6560

■主な事業内容

線細工加工、各種バネ、金属
精密加工品、樹脂バネなどの
設計・製造・販売

■主な取引先

自動車部品会社 等



線細工加工の製品

極小の精密バネから 線細工加工へ方向転換

昭和51年に創業し、レジスタカからオーディオ機器、ビデオ、カメラ用など、細いものなら直径0.1〜0.2ミリという極小・極軽の精密バネを中心に供給してきた栄光スプリング。ニーズに応じて、圧縮バネ、引張バネ、トーションバネなどそれぞれに必要な設備機器をそろえ、他社が尻込みするような複雑で難しい製品にあえて取り組むことで技術力と独自性を磨いていった。

やがて、電気機器やカメラなどの生産が海外に流出し始め、このままでは精密バネの需要が先細りになると見込んだ同社は、新たな商機を求めることとなる。そして、平成14年にコンサルタントの指導を受けることなく「ISO9001」の認証を取得。当時は取得工場が少なく、その積極的な取り組みが強みとなって、今まで取引のなかった自動車製造分野に参入することになった。そして翌年から大型対応の最新製造機械ト

シヨソフォーマーを次々に導入。米粒より小さなバネづくりから、手のひらサイズほどの線細工加工品の製造へと大きな方向転換を果たした。



精度の厳しい自動車部品で オンリーワンの道を究める

その後は、主に自動車メーカーのニーズに応え、他社が二の足を踏むような精度の厳しい製品の開発と製造に取り組み同社。これまでプレス加工で作られていた板状の部品を金型の要らない線細工加工品に置換することで、メーカーの狙いである軽量化と低コスト化を同時に実現。モデルチェンジのたびに需要が発生し、

同社が手がける高精度な製品への評価も揺るぎないものになっていく。もともと、バネは全て受注生産の部品だけに、携帯電話やパソコン、ゲーム機などヒット性やシーズン性の高いものは狙わないというのが同社の営業方針。自動車なら、長期的な視野で開発・製造され、部品の寿命もある程度予測できるので事業展開がしやすい。

「バネから大型の線細工へ移ったのは、当社にとっては業種転換したようなもの。大手でもあまり持っていない設備も必要でした。しかし、極小で精密を極めたバネを作っていたからこそ、大きな線加工に取り組めた。逆の流れなら、難しすぎて諦めていたでしょう」と語る平岩社長。今後は、高品質な線加工のオンリーワン企業として、建築機や農機、海外メーカーにも販路を拡げ、展示会などにも積極的に参加すると言う。また、地元企業と連携し、工業製品とは全く異なる生活雑貨製品などの企画開発にもチャレンジしている。

当社のセールスポイント

独自のトレーサビリティ・システムで製品情報を瞬時に提示できます。



代表取締役
平岩 志郎さん

当社の原動力は、高性能の製造設備による安定した品質の確保と生産時間の短縮化、社員一人ひとりがものづくりに取り組むチャレンジスピリッツです。品質管理については、他社に先駆けて平成15年に独自のトレーサビリティ・システムを確立。ミル・シート、熱処理記録など製品のあらゆるデータを一元管理し、お客様の問い合わせに対し、瞬時にデータを提示しご好評をいただいています。